

|   |   |
|---|---|
| 研究課題名   | ロボット支援下結腸右半切除術を安全に導入するための工夫   |
| 研究機関名   | 武蔵野赤十字病院  |
| 研究責任者   | 外科 増田 大機  |
| 研究期間  | 臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2024年4月  |
| 研究の意義・目的  | 結腸右半切除術は血管走行のバリエーションが多く、術中の牽引によって解剖に歪みも生じるため、剥離層の誤認や静脈損傷に注意が必要である。武蔵野赤十字病院 外科では以前より、頭尾側からの挟みこみを行った後に胃結腸静脈管周囲の郭清を行っており、2022年6月より導入したロボット支援下結腸右半切除術においても同様の手順で行っている。2022年6月から2023年8月に施行されたロボット支援下結腸右半切除術16例の手術手技を抽出し、その安全性を検証する。  |
| 研究の方法<br>(対象期間含む)   | 研究のデザイン<br>・通常の診療で既に取得された診療情報を収集、分析する単独・後向き観察研究<br><br>予定研究対象者数<br>・2022年6月から2023年8月に施行されたロボット支援下結腸右半切除術16例<br><br>評価・観察の項目及び方法<br>・年齢、性別、BMI、手術経過、コンソール時間、出血量、術後在院日数、合併症、等   |
| ①試料・情報の利用<br>目的および利用方法<br><br>②利用し、又は提供する<br>試料・情報の項目<br><br>③試料・情報の取得<br>の方法<br><br>④利用する者の範囲<br><br>⑤試料・情報の管理<br>について責任を有する<br>者の氏名又は名称 | ①研究実施に係る情報を取扱う際は、研究独自の番号を付して匿名化し、研究対象者の秘密保護に十分に配慮する。あわせて研究独自の番号と研究対象者の個人情報との対応表を作成して保管する。研究の結果を公表する際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないよう十分注意する。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。<br><br>②年齢、性別、BMI、手術経過、コンソール時間、出血量、術後在院日数、合併症、等<br><br>③診療録（電子カルテ）より情報を抽出<br><br>④研究責任者<br><br>⑤武蔵野赤十字病院 外科 増田大機 |
| 問合せ先  | 当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ<br><br>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1<br>武蔵野赤十字病院<br>所属 外科 氏名 増田 大機<br><br>TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525   |